

## <新規陽性者の発生動向>

### (1) 大阪府の発生動向

- 1月5日以降新規陽性者数は急増し、直近1週間は前週比1.96倍とほぼ倍増。感染拡大の規模・スピードはこれまでの波にないレベル。直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数は43.95人(1/11)と過去最多を記録し、陽性率以外は国の分科会指標のステージⅣの基準を大きく超過。
- 新規陽性者に占める40代未満や感染経路不明者の割合が直近2週間で増加。

(参考 これまでの取組み)

- ①11/21～イエローステージⅡに移行。  
府民等に対し、「5人以上」「2時間以上」の宴会・飲み会は控えることや、重症化リスクの高い方は、不要不急の外出を控えることなどを要請
- ②11/27～大阪市北区、中央区の接待を伴う飲食店、酒類の提供を行う飲食店(居酒屋等に対する休業又は営業時間短縮の要請)
- ③12/4～府民に対するできる限りの不要不急の外出自粛要請
- ④12/16～大阪市内の接待を伴う飲食店、酒類の提供を行う飲食店(居酒屋等に対する休業又は営業時間短縮の要請)  
府民に対する不要不急の外出自粛要請

### (2) 市内・市外居住者の発生動向 (週・人口10万人あたり)

- 市内・市外ともに直近1週間で急増し、11月の時短要請前の数を大きく超過。
- 市内・市外の各年代いずれも直近1週間で増加し、特に10代～30代の新規陽性者数が急増。  
(20-50歳代の世代の感染拡大が、家庭内、医療機関や高齢者施設等での感染に繋がっており、重症者が増加する要因)

### (3) 夜の街関連等の発生動向

- 新規陽性者に占める夜の街の関係者及び滞在者の割合は、直近2週間で増加に転じ、特に居酒屋・飲食店、バーの滞在歴のある陽性者は11月27日の時短要請開始時点の水準を上回っている。  
滞在エリア別では、クラスターによる影響もあり、市外でも増加。市内も再び増加に転じ、時短要請開始時点の水準にまで戻っている。
- 年末年始は、会食・カラオケなど同窓会、友人同士や親族の集まり、クリスマスや忘年会、新年会や初詣等のイベントによる感染が推定される事例が数多く確認。

# 感染状況と医療提供体制の状況について

## <医療提供体制の状況>

- **重症病床使用率**は、重症者数が170人前後で推移したままであり、**依然ひっ迫**（1/11 71.6%（実運用率80.5%））。**軽症中等症病床**は、1月11日に入院者数が948名と過去最多となり、**極めてひっ迫**。（1/11 使用率70.6%（実運用率74.8%））。**宿泊療養施設**についても使用率が約6割に達し、ひっ迫の度合いが増している。
- 今後、新規陽性者数が1日あたり600名程度で推移すると仮定した場合、重症者数及び軽症・中等者数は、1月11日時点の確保病床数（重症病床236床、軽症・中等症病床1,342床）を上回る恐れがある。また、宿泊療養についても、運用数が急激に増加している。入院・療養者数が高水準で継続することにより、医療提供体制が限界を超える恐れがある。

## 今後の対応方針について

- 年末年始特有のイベント等や季節性による感染の広がりなどにより、現在、**新規陽性者数はこれまで例をみない急拡大の波に突入している**。その影響で、**医療提供体制のひっ迫の度合いが一層、増している**。
- **新規陽性者に占める40代未満や感染経路不明者の割合が増加していることから、今後、感染が更に拡大する恐れが大きく、確保病床をオーバーフローする恐れが刻一刻と高まっていることから、府民への更なる強い呼びかけなど、感染抑制に向けたさらに強い取組みが必要である**。